様式Ⅳ－２　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（知の集積用）

発明等 報告書

平成○○年○○月○○日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

生物系特定産業技術研究支援センター 所長　殿

コンソーシアム名　：

代表機関住所　：

代表機関名　：

研究代表者名　：※役職名も記す。　 　　　　　　印

参画機関住所　：

参画機関名　： ※発明等を行った参画機関

研究実施責任者名　： ※役職名も記す。　　　　　　　　　　印

平成○○年○○月○○日付け委託契約に基づく下記１項記載の委託試験研究の成果として、下記２項に記載した発明等を行ったので、報告します。

　※コンソーシアムの場合は研究代表機関経由で提出して下さい。

１．本報告に係る委託試験研究の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | ○○○○○事業 |
| 試験研究計画名 | ○○○○○○○ |
| コンソーシアム名、  代表機関名  代表者名 | ※代表者名は、委託契約書の代表者名を記す。 |
| 試験研究の実施期間 | 平成　年　月　日　～　平成　年　月　日  ※原契約書の委託期間を記す |

２．発明等

|  |  |
| --- | --- |
| 発明者名  （共同発明の場合は全発明者を記入） | 発明太郎　××大学××研究室  発明花子　××研究所××解析室（第三者）  ※構成員以外の者である場合は「（第三者）」を明記。 |
| 出願人名  （共願の場合は全出願人名を記入） | ××大学  ××研究所（第三者）  ※構成員以外の者である場合は「（第三者）」を明記。 |
| 発明考案等の名称 | ○○○○○○○の開発方法 |
| 特許権等の対象 | 特許権 ・ 実用新案権 ・ 意匠権 ・ 育成者権 ・ その他（　　　　　　　） |
| 特許権等の範囲 | ・特許明細書の請求項の内容を簡略化して分かり易く書く。  ・国内優先権主張に係る発明については、元の出願日／出願番号等を記載するとともに、追加する発明の部分を明確に記入して下さい。  ・第三者と共同出願する場合等において、より広い権利を得ることを目的として委託業務以外の成果を含む出願である場合は、委託業務の成果と委託業務以外の成果とを峻別して記載して下さい。 |
| 発明等による効果 |  |
| 従来技術との相違点・新規性 |  |
| 本事業との関連 | 研究課題のうちの中課題「～の開発」に係る研究成果である。 |
| 特記事項 | ・共同出願する場合は、共同出願契約締結の進捗状況等を記入して下さい。  ・第三者と共同出願する場合は、「コンソーシアム構成員以外の○○○との共同出願において、○○○は、○○委託契約書の秘密保持及び特許権等に係る規定の適用を受けることについて同意しました。」と記入して下さい。 |

＜補足説明＞

１ 共同出願を行う場合

共同出願を行う場合は、共同出願人の間で共同出願契約書を出願等を行う前までに締結するとともに、写しを生研支援センターへ提出して下さい。

当該共同出願契約書は、委託契約書との関係を明らかにするとともに、委託契約書が定めた守秘義務及び特許権等の取扱いに係る規定を優先することを規定して下さい。

２ コンソーシアム構成員以外の第三者と共同出願する場合

（１）委託先は、発明等報告書を生研支援センターへ提出する際に、第三者を共同出願人に加える必要性を示す「第三者を共同出願人に加える理由書」（様式任意）を作成し、本報告書に添えて生研支援センターへ提出して下さい。

（２）委託先は、第三者との間で下記要件を満たす共同出願契約書を出願等を行う前までに締結するとともに、同契約書の写しを生研支援センターへ提出して下さい。  
・ 委託先と第三者との特許権等の持ち分を峻別している。

・ 委託契約書との関係を明示し、委託契約書における秘密の保持及び特許権等の取扱いに係る規定について委託先を第三者に読み替えて適用することが規定されている。  
または、共同出願契約書若しくは共同出願契約書に付随させる覚書等において、委託契約書との関係を明らかにするとともに、委託契約書が定めた守秘義務及び特許権等の取扱いに係る規定を優先することを規定している。

なお、第三者との共同出願することについて、他の構成員の同意をあらかじめ得て下さい。

３　特許権等を国内において出願等を行った場合は、出願日から６０日以内に出願した事を証する書類控えを添えて「特許権等出願通知書（様式Ⅳ－３）」を生研支援センターへ提出して下さい。

４　国外において出願等を行う場合は、出願等を行う前に、「特許権等 出願通知書（国外出願）」（様式Ⅳ－３－①）を生研支援センターへ提出して下さい。